コープくらしのたすけあいの会
２０１８年度コーディネーター研修会報告

１．日　時　２０１８年１２月５日(水)　１０:４５～１４:００
２．場　所　青森市アウガ５階カダール研修室
３．出　席　２１名（コーディネーター・幹事・関係職員・講師等）
４．プログラム　　　　　　　　　　　　　　司会：県連常務理事　鎌田・三浦

10:45	開会挨拶（コープくらしのたすけあいの会　宮本会長）
10:50～11:50	医療生協の介護現場からの報告 青森保健生協　青森市おおの地域包括支援センター　所長砂川照美さん 津軽保健生協　弘前市第一地域包括支援センター　所長熊谷光子さん 八戸医療生協　生協居宅介護支援事業所　所長大坂弘子さん
11:50～12:10	たすけあいの会の今後のあり方を考える プロジェクト会議について　県生協連常務理事　鎌田敦子　＊意見交流
12:10～12:50	昼食休憩
12:50～13:45	事例研究 ①事例紹介（八戸・三沢地域事務局　相内　恵美子） ②研究事例寸劇（八戸医療生協　大坂弘子、青森地域事務局桜田とも子） ③質疑　④グループワーク　⑤グループ発表
13:45～13:55	発表を聞いての感想（３医療生協参加者より）
13:55～14:00	閉会挨拶　　　（弘前・黒石地域事務局　瓜田　昌子）

５．概　要

宮本達也会長（県連副会長）による開会挨拶

青森保健生協・青森市おおの地域包括支援センター砂川所長

津軽保健生協・弘前市第一地域包括支援センター熊谷所長

八戸医療生協・生協居宅介護支援事業所大坂所長

グループでの事例研究に向けて、依頼内容を寸劇で紹介

グループワークで真剣に話し合う参加者

・2018年12月5日、県内３つの医療生協の介護現場より講師をお招きし、研修会を開催しました。介護現場からの活動報告をお聞きしたうえで、研究事例を題材にコーディネートで何を大事にするのかをグループに分かれて話し合い、交流を深めました。

【感想より】
・各地域の状況や、居場所づくりや心の縁側事業の取り組みを知ることができ、良かった。
・自治体毎に組織やしくみが異なるので、たすけあいの会とのつながりの形もちがうと思った。
・沢山の意見が出され、日頃様々な視点をもって工夫し活動していることがわかり勉強になった。
・たすけあいの会の想いを再確認できとてもうれしく感じた。家族の力、本人の想いを確認しながら、介護現場と今後も連携を深めていきたい。